

平成29年度第1回花巻市まち・ひと・しごと創生有識者会議（会議録）

1 開催日時

平成29年6月30日（金） 午後1時30分～午後3時00分

2 会場

花巻市役所本庁舎3階 委員会室

3 出席者

(1) 委員 14名（16名のうち）

中村良則座長、高橋勉委員、宮澤啓祐委員（代理出席）、藤沼弘文委員、
佐々木博委員、千田志保委員、遠藤章委員（新委員）、漆沢俊明委員、
工藤純委員、鈴木朋友委員（新委員）、佐藤格委員、似内英悦委員、
吉田英雄委員、岩淵満智子委員

(2) 市・事務局 6名

上田市長、久保田総合政策部長、伊藤秘書政策課長、高橋同課長補佐、
赤坂同企画調整係長、平石同主任

4 会議内容

(1) 委嘱状交付

新委員2名に対し、市長から花巻市まち・ひと・しごと創生有識者会議委嘱状
の交付。

(2) 開会

(3) 市長あいさつ

上田市長よりあいさつ。

(4) 座長あいさつ

中村座長よりあいさつ。

(5) 説明

○説明

（事務局）

配布資料により、花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実施状況について説
明。

○質疑応答

(中村良則座長)

資料1の3ページの重要目標達成指標(KGI)の項目のなかで、基本目標②「花巻市への新しい人の流れをつくる」の「UIJターン者の雇用数(延べ人数)」の目標値が200人増となっているところ、現時点で16人増となっている。基準値からみれば増加しており評価的には○となるが、目標値に対してどのように考えているか。

(事務局)

現状では厳しい数値だと認識しているが、今年度より在宅で仕事を行うことができるテレワーク事業を本格化させることを含め、目標達成に向けてさらに事業を推進していきたい。

(宮澤啓祐委員代理 佐藤良介氏)

資料1の4ページの重点方針「力強いものづくり産業の振興」の方向性No.イ「市内企業の技術力・経営力の向上と競争力の強化を図る」や、重要方針「地域で学び育て、自主的に進めるまちづくり」の方向性No.ア「地域に誇りを持ち愛着を育む」は、すべて△の評価となっている。具体的にどのような事業を実施し、このような評価になったのか伺いたい。

(事務局)

重点方針「力強いものづくり産業の振興」の方向性No.イ「市内企業の技術力・経営力の向上と競争力の強化を図る」についての詳細な重要業績評価指標(KPI)は、4-1ページに記載している。具体的な事業内容については、資料3「地方創生関係交付金事業達成状況報告書」のNo.3に記載されている「地元企業等連携・最終製品創出事業」により試作品を作成したが、現段階ではまだ流通に至っておらず、実績としてカウントできなかった。

重要方針「地域で学び育て、自主的に進めるまちづくり」の方向性No.ア「地域に誇りを持ち愛着を育む」の詳細なKPIは4-13ページに記載している。平成28年度は市民講座全体の在り方を見直したことにより、「市民講座等講座開催回数」および「市民講座等参加者数」が減少した。そのなかでも「市民講師等登録者数」は前年度と同数であることや、「市民講座等参加者満足度」は前年度を上回っていることから一定の成果があったものと考えている。今後は、積極的な講座の開催や内容の充実により満足度の向上を図っていく。

(千田志保委員)

次の第2次改定の際には、KPIやKGIの目標値の数値を改定することも検討しているということでしょうか。

(事務局)

今年度が総合戦略の中間年にあたることから、これまでの実績を踏まえたうえで改定の必要性がある部分については見直しを検討していく。

(中村良則座長)

K P I や K G I の項目自体の見直しは行うのか。

(事務局)

新たな目標設定が必要なものもあるかと考えている。

(岩淵満智子委員)

資料1の4-8ページの「新たに職場体験を受け入れた事業者数(延べ人数)」について、すでに中学生等の職場体験を実施している中で、受け入れの声掛けをしても0社ということなのか。

(事務局)

中学生等の職場体験については、学校が独自に行っているものであり、市が主体となってお願しているものではなかったことから、0件となっている。昨年度、実践型インターンシップ導入調査事業を実施し、受け入れ企業の掘り起こしを行った段階であり、実績として挙げるができなかったが、今年度より約3社で実践型インターンシップ事業を実施することとなったため、来年の実績では報告することができると思う。

(佐藤格委員)

資料1の1ページを見ると、世帯数は増加しているが人口は減少傾向にある。岩手県立大学に人口移動の調査を依頼することだが、例えば介護施設に住所移動をすることで人口が増えているというような傾向まで調査するのか。

(事務局)

介護施設に住所移動する場合は、単身での登録になるかと思う。花巻市のなかで、介護施設入所者数が劇的に増加しているというわけではないが、岩手県立大学に依頼する人口移動調査で何かつかめればよいと考えている。

(中村良則座長)

人口は目標を若干下回る形で推移している。社会増減は減少傾向にあるが、「花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略の成果が表れ始めていると考えられる」と記載されているが、K G I 等の評価を見ると「総合戦略の取り組みをもっと強化する」というような表記も当てはまると考えられると思うが。

(事務局)

表記の通り言い切るのには疑問があることは認識しており、総合戦略の成果が簡単には表れないとも考えている。関連事業や施策を実施していくなかで、目標や施策について原点に立ちかえり、今年度は有識者の皆様から意見を頂戴しながら改定を進めていきたいと考えている。

(高橋勉委員)

資料1の3ページの重要目標達成指標(KGI)の項目のなかで、基本目標②「花巻市への新しい人の流れをつくる」の「UIJターン者の雇用数(延べ人数)」について、就業者の職種は把握しているか。

(事務局)

今日は資料を持ち合わせていないが、この人数についてはUIJターン者を雇用了事業者に対して補助金を活用した人数となるため、次回の会議には業種を調査して提示させていただきたい。

(高橋勉委員)

都会から農村へ戻り仕事をするという風潮の中で、後継者育成や産業を発展させることが大事であると考えておることから、市と一体となって頑張っていく。

重点方針「結婚から出産へのライフステージの支援」について、農協でも商工会議所でも婚活支援を行っている。うまく情報交換を行えば、婚活支援もより良くなると思うので、良いアイデアがあれば教えていただきたい。

(工藤純委員)

資料1の3ページの「市内宿泊者数」について、観光客が主であると思うが、ビジネス客は新幹線の停車する北上駅前に宿泊し、在来線で花巻まで来ているようだ。ビジネス客向けの宿泊が花巻は弱いのではないかと感じている。

資料2のNo.79「奨学金活用人材確保支援事業」について、学生が借金をして学んでいるという状況になるが、3名という人数が少ないのではないか。

人工知能やビッグデータを活用した第4次産業革命と呼ばれる動きが出てきており、全国的な流れに遅れないためにも、記載されている内容のほかにILCに関連した部分を推進していく必要があるかと思う。

全国的に保育士の不足が問題となっており人材を確保していく中で、非正規労働者が多くみられる。非正規労働者の賃金で幼児の命を預かるといふことに疑問を

感じ離職する方もいることから、「花巻市なら安心して子供を預けられる」という環境にするためにも、非正規職員の労働観用について考えていただきたい。

まち・ひと・しごと創生総合戦略について、他市町村と比較したことはあるのか。また、他市町村と比較して花巻市の特徴というものはあるのか。

(事務局)

「市内宿泊者数」については、北上市と競争しているわけではないが、ビジネススタイルからするとそのような活用をされるのはある程度仕方ないと思う。観光客・ビジネス客の利用方法について上手くすみわけができて、双方にメリットがあれば良いと思う。

奨学金の利用者について、奨学金を貸すこと自体はこれまで取り組んできている。今回新たに取り組み始めたのは、奨学金を借りて花巻市に居住した場合、奨学金の返還の補助を行うというものであり、その実績が3組というもの。首都圏に出て行かれた方が、花巻に戻ってきたときに仕事がないと定着できないという実情があるため、金銭面だけではなく定着できるだけの雇用を生み出すといった両面での戦略展開が必要だと認識している。

ILCについては、岩手県が中心となって誘致に向けて積極的な活動を展開している。花巻市も岩手県ILC推進協議会に参加していることから、県南地域・岩手県・国と一体となって、観光・産業・教育分野において協力していく。

保育士の待遇面改善の必要性については、十分に認識している。都会で保育士が特に不足しており地方から流出してしまうことから、保育士の待遇向上については国への要望項目として挙げて対策をお願いしている。保育士の不足については、新たに現在、保育の仕事に就いていない潜在保育士の掘り起こしに関する事業を開始したため、さらに推進していきたい。また、花巻市としても子育て支援に力を入れていかなければならないと考えていることから、施策のご提案などあればお願いしたい。

他市町村との総合戦略の比較については、それぞれの分野で詳細に比較したことはないが、他市町村と比べ観光・農業部分の比重が大きいと認識している。子育て支援・移住定住に関しては、花巻市は県南地域の中でも豊富な施策を実施していると考えている。他市町村の職員とも会議等で積極的に情報交換を行い、他市の情報を仕入れていきたい。

(似内英悦委員)

資料1の4-3ページの「木材生産量」は目標値をクリアしているが、一方で「森林整備面積」は基準値を下回っており、木材生産のみで森林整備が進んでいない

ということが見受けられる。

また、「全農家の経営面積に占める担い手の割合」は目標値を大幅に上回っていることから、目標値が低かったのではないかと考えられる。

「水田整備率」は基準値から数値の変化がないことから、次回改定の際に検討してもよいのかと思う。

(事務局)

伐採して木材として生産はしているが、再造林が進んでいないという課題について、どのような施策が良いのかという検討が必要だと感じている。

「全農家の経営面積に占める担い手の割合」は、現状から見れば目標が低いと思われるが、他のK P Iについても同様だが、平成31年度の新たな目標値の設定を見極めながら、改定作業を進めていく。

(漆沢俊明委員)

お客様と話している中で、介護士や看護師の方から花巻市には24時間保育を実施している認可保育所がないため、24時間保育を実施している北上市の無認可保育所を利用しているという話があった。24時間保育のニーズは意外とあると思われる。また、市内法人でも24時間保育をやっても良いという法人があるようだ。花巻市も24時間保育を認めていただくことで、人口流入のきっかけとして期待されるため今後ぜひ検討していただきたい。

(事務局)

情報提供していただき感謝申し上げます。市としても調査を行い、新たな施策として盛り込めるよう検討していきたい。

(鈴木朋友委員)

花巻管内の高校生の就職率は100%を達成し、うち県内就職希望は8割とのこと。しかしながら、管内企業に就職した高校生は3割程度にとどまる。地元企業のことを高校生に紹介する機会をさらに設けることで、もっと地元を目を向けてもらえるようになり、ものづくり産業の育成・発展への寄与や定着した高校生が結婚・子育てをすることにつながっていくのではないかと思います。

(事務局)

大切な視点かと思うので参考とさせていただき、担当部局と新たな施策について検討していきたい。

(遠藤章委員)

目標を達成するために、掲載事業について確実に実施していく中で、進捗状況を確認しながら、効果があるのか疑問があるものについては順次見直しをしていく

ものと認識している。花巻市として全体を見ることも大切だが、どの部分を強く推進していけば目標に到達できるのかという細部を見ることを考えても良いと思う。花巻市が魅力あるまちでなければ人口は増えないと思うので、花巻市ならではの独特な取り組みを一緒に考えていければと思う。

(中村良則座長)

今日の会議で重要な意見が多く出てきたので、改定に向けて作業を進めていただければと思う。指標の設定の仕方等含めて、次回の会議の際に検討していきたい。

(6) その他

特になし

(7) 閉会